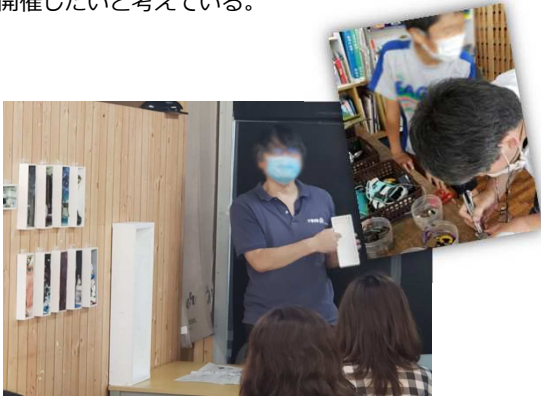


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	コラーレ富山	事業所番号	1610101550
住 所	富山市新庄本町三丁目1-13	管理者名	木村 貴之
電話番号	0764-452-3899	対象年度	令和2年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 富山県障害者芸術活動支援センター ばーど◎とやま ■ 令和2年8月22日（土）13：30-17：00 ■ 「再生アートにチャレンジ」と名付けたワークショップを弊センターにて開催。講師として、当事業所の再生アートアーティスト作家名:黒田清（利用者）が登壇に立つ。サポートとして職員2名も参加。 ■ 富山市、高岡市、射水市より老若男女5組参加があった。 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者と地域との関係づくりを通し、地域での利用者の活動の場を広げ、自立した生活をおくる。 ■ 「再生アート」等を通し、産業廃棄物＝資源というイメージチェンジをはかり、リサイクルへの興味をもってもらおう。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者が、地域での自分の居場所や役割をみつけ、様々な経験をしながら就労することが出来ている。 ■ 民間放送のチューリップテレビ様に「再生アート」についての7分ほどの特集を放映してもらった。 ■ 体力がいるため、各特性を理解し、安定した心身の状態を保つ必要がある。 	<p><活動の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再生アートの展示会やワークショップの参加等、活動の様子の写真等は別紙や自社のHPや有限会社エイキのHP、Facebook内に投稿記事あり。 ■ YouTubeに「再生アート」と検索すると、当時の特集を視聴することができる。 ■ 令和2年度は、高岡広域圏での活動に参加していた為事業所がある富山広域圏でも、廃棄物を活用した「再生アート」や「再生作品」のワークショップを開催したいと考えている。 
--	--

連携先の企業等の意見または評価

<p>■コラーレ富山の作家さんがお作りの「再生アート」は、就労先で収集した廃材（これは家やビルの解体等で出た不要物）を小さな箱に配置するという、とても興味惹かれる作品です。様々な歴史を感じる廃棄物を使って再生アートを作る工程を見ていると、そのもの自体に価値が見えてきます。また作品である「再生アート」はインテリア性と作家性に優れていると感じます。創作参加者たちは、感性のおもむくまま自由に箱に表現していました。「楽しかった」「再生アートを通して環境問題を身近に感じられるようになった」など環境問題への意識向上につながる活動であると考えます。また、どこかでコラボ出来ればと考えています。</p>			
連携先企業名	富山県障害者芸術活動支援センター ばーど◎とやま	担当者名	米田